

私のための学びを

放送大学は、学びたい人すべてがいつでも学べる「開かれた大学」です。性別や職業を問わず幅広い年代の学生が在籍しており、家事や育児、仕事と両立させながら学んでいる女性もたくさんいます。今回は、青森県南在住で八戸サテライトスペースに在籍する4人の女性の学生にインタビューし、「放送大学で学ぶことの魅力」を探りました。

文・写真=小泉仁美

参加してくれたのは

まゆみさん(60代) 2020年大学院入学
しずかさん(50代) 2017年入学
ゆきさん(50代) 2016年入学
えつこさん(60代) 2018年入学



みなさんの入学のきっかけを教えてください。

まゆみさん(以下M) 年齢を重ねる中で、大学生の頃とは違った分野を学んでみたいと思いました。福祉や介護について、より深い知見を得たいと考えました。

しずかさん(以下S) 短大卒業後、看護師として働いていましたが、結婚を機にキャリアを諦めて専業主婦になりました。子育てが落ち着いて時間に余裕ができたこともあり、自分のキャリアの空白を少しでも埋めたいと思って入学しました。4年制の看護学士の取得を目指しています。

えつこさん(以下E) 体調を崩して仕事を辞めてから、自分のできる範囲で何か取り組めることはないか探していた時、放送大学の先輩でもある夫に勧められて入学を決めました。

ゆきさん(以下Y) 子どもの大入学試に関わる中で「私も大学に入ってみよう」と興味を持ち、お金と時間の面から現実的だった放送大学を選びました。子育てが一

段落して夫と二人暮らしになり、人と接する機会が減ってしまった状況に寂しさを感じたことも理由です。

— 入学してみて、何か感じたことはありますか？

Y 自分のペースで学べるのがうれしいです。平日はフルタイムで仕事をしていますが、無事卒業できそうです。

E 好きな履修科目を自由に選べるのもいいですね。

M 放送授業は、履修登録をしていなくても、興味がある科目を気軽に視聴できるから楽しいです。普通の大学や大学院と比べ、学費が安いことも魅力です。

S 短大に通っていた若い頃は他にもたくさん楽しみがあった、学ぶことの本当の面白さを分かっていなかったと思います。年齢を重ね、いろいろな経験を積んだからこそ深く理解できる事柄も多く、新鮮な気持ちで学んでいます。

Y 家庭から離れて、放送大学で学んでいるひとときは「私だけの時間」。妻でも母でもない、私自身でいられる瞬間です。

— 印象に残っている授業はありますか？

Y 国立大学の先生から直接教わる面接授業です。リアルな「大学生気分」を味わえて楽しかったです。

S 「災害看護」についての授業です。東日本大震災を経験したこともあり、興味深く受講しました。10代の頃には学べなかった分野を教わるのが面白いのです。

E 「認知症を考える」という授業は、自分や親が認知症になってしまったときのために、知っておいたほうが良いと考えて選択しました。暮らしに生かせる実践的な学習だと思います。

M 「臨床心理学特論」です。過去にも学んだことがある内容でしたが、先生が違うと、教える視点も変わるんだという新たな発見がありました。

— 最後に、放送大学に興味がある人や、入学を迷っている人にメッセージをお願いします。

M いろいろな分野の勉強ができるので、日々のニュースの意味もより深く分かるようになりました。世界がぐんと広がって、年を取っても毎日が充実しています。

S この年で新しい場所に飛び込んで、良かったと思います。「大学に入ると見聞が広がる」という言葉を、身を持って感じています。

E 八戸サテライトスペースは立地も良いので通いやすいです。分からないことがあれば、スタッフが親身に相談に乗ってくれるので安心です。年を重ねてからの学びは、若い頃とは違った面白さがあります。

Y 放送大学での学びは、義務教育とも受験のための勉強とも全く違ったものです。言うなれば、自分のための勉強です。入学には少し勇気がいるかもしれませんが、一歩踏み出してみるととても楽しいですよ！

— みなさん、本日はありがとうございました。

放送大学の魅力

1. 自分のペースで学べる
2. 目的に合わせて学べる
3. 多彩な授業
4. 手厚いサポート

1科目から履修することができるので、仕事や家事、育児を両立させながら学べます。



スキルアップから学位取得まで、目的に合わせた学び方を選ぶことができます。



視聴できる放送授業はおよそ300科目。先生から直接教わる面接授業もあります。



各都道府県にある学習センターやサテライトスペースでは、さまざまな学習支援を行っています。

